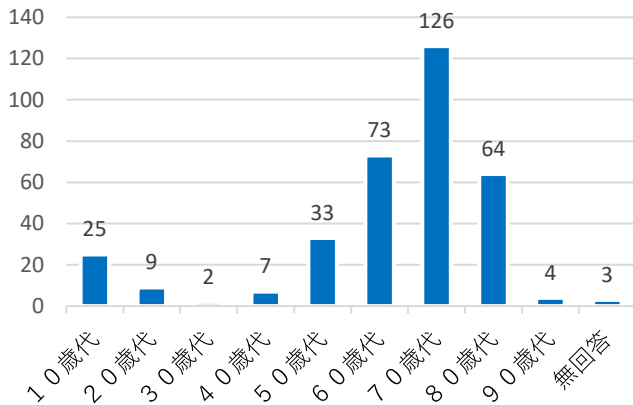


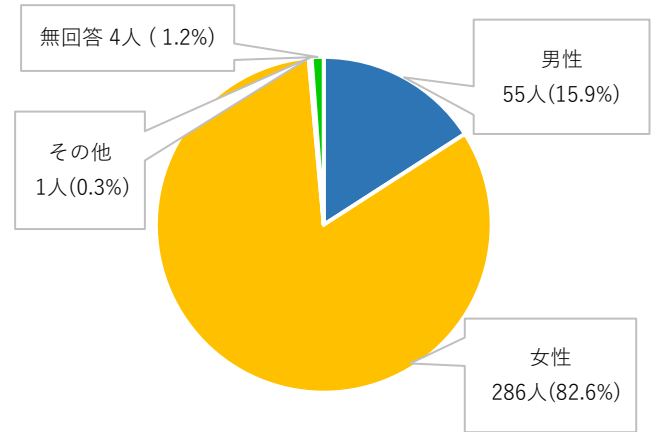
# R6年度 在宅医療と介護を知る宇佐市民講座アンケート結果 (R6.9.7)

アンケート回答346名

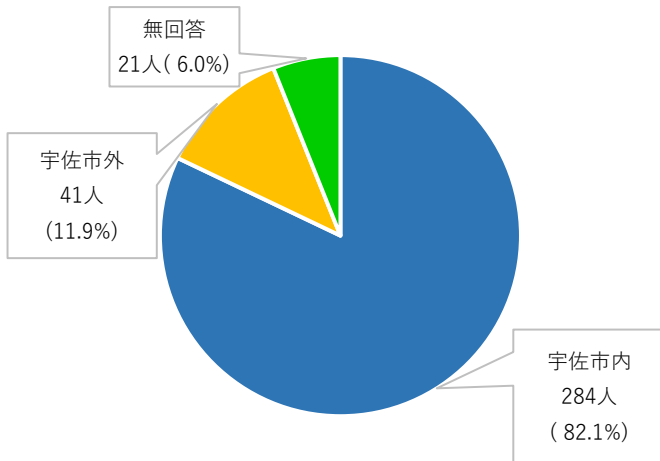
## 【年齢】



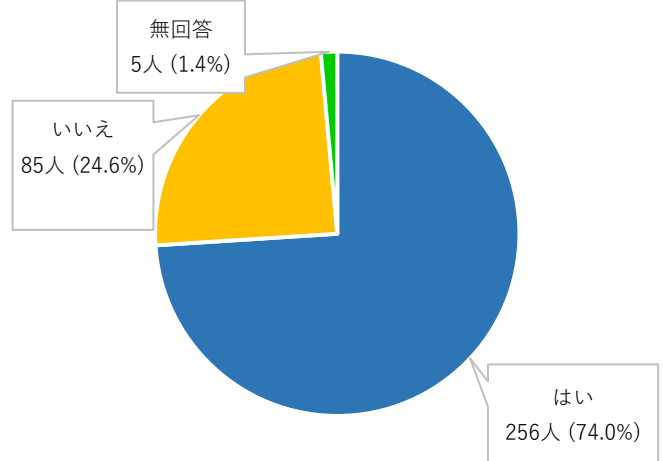
## 【性別】



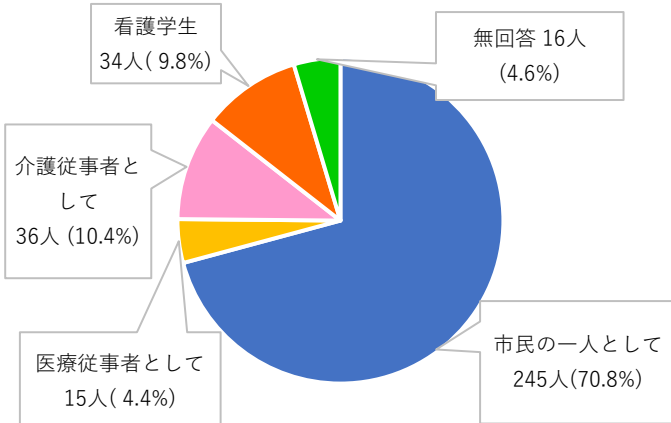
## 【お住まい】



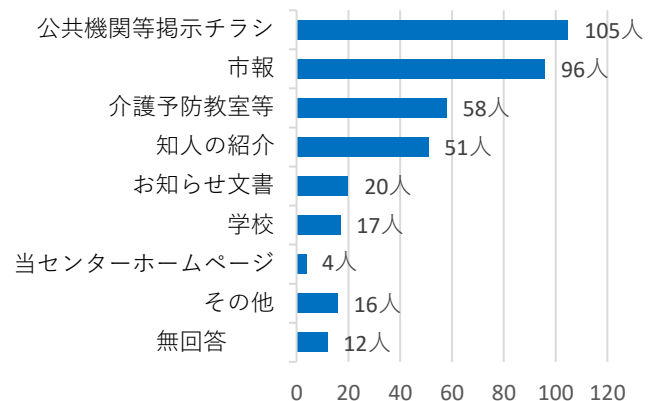
## 【現在、かかりつけ医（主治医）をお持ちですか】



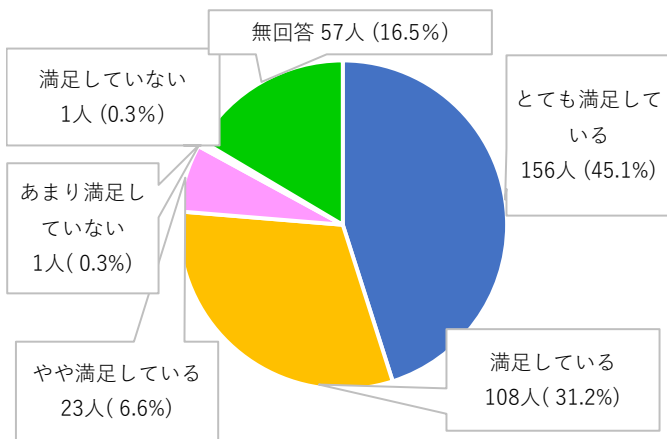
## 【どのような立場から参加されましたか】



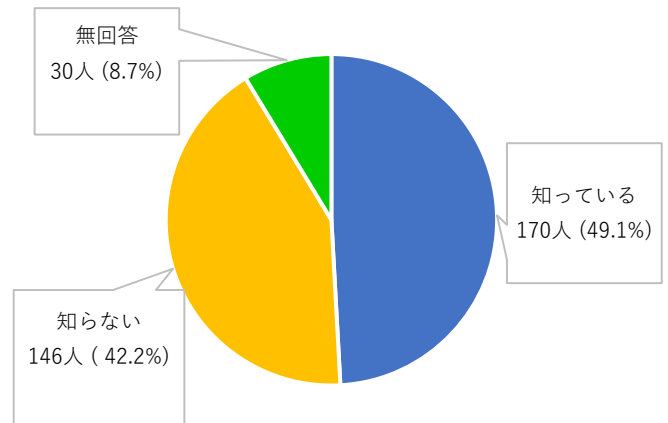
## 【市民講座は何をご覧になって参加しましたか】



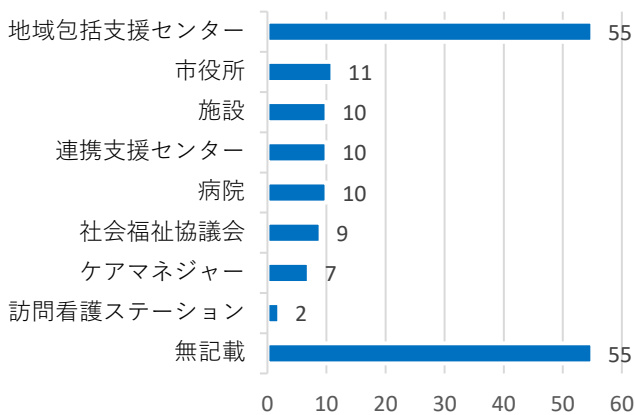
【今回の映画にどのくらい満足しましたか】



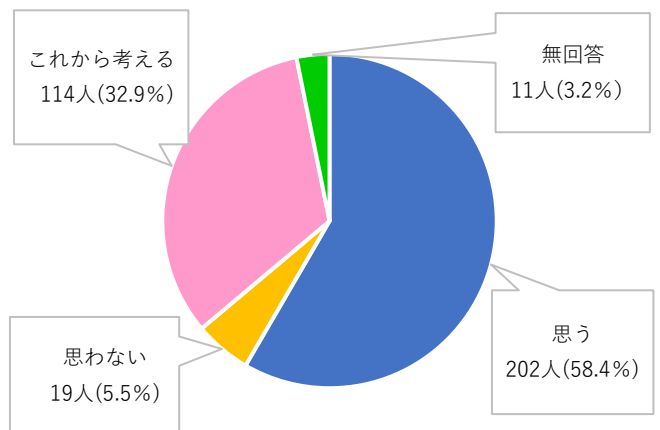
【在宅医療・介護を利用する時に  
相談する場所を知っていますか】



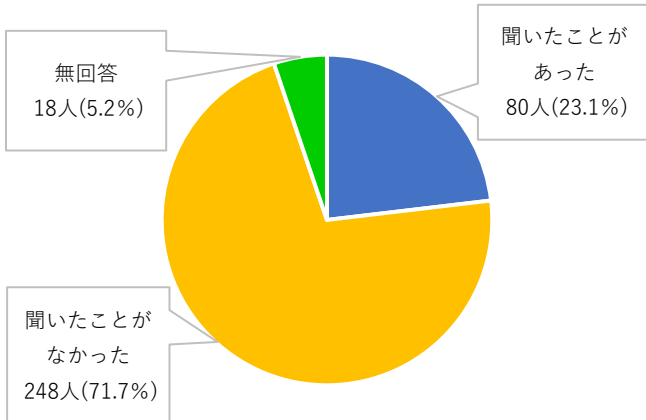
【在宅医療・介護を利用する時に相談する場所】



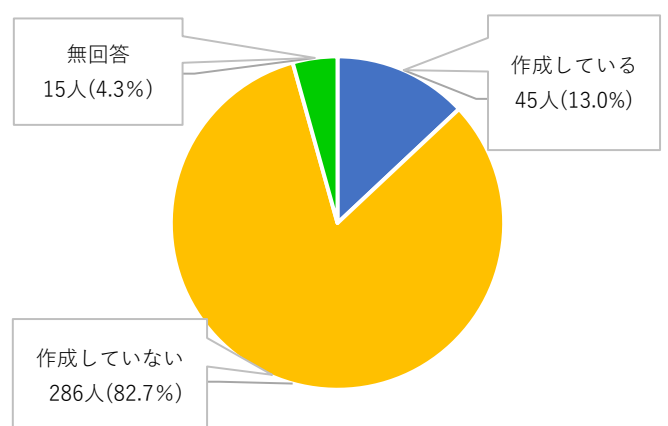
【介護が必要になった時、在宅医療を  
利用してみたいと思いますか】



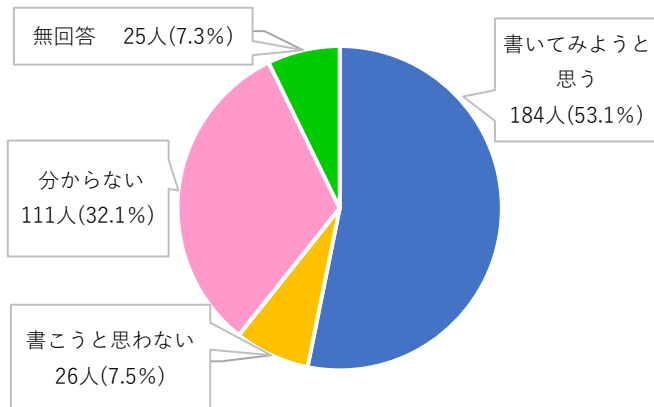
【ACP(人生会議)という言葉  
聞いた事がありますか】



【万が一が起きた時に備えてどのような治療やケア  
を受けたいのかを伝える書面を作成していますか】



【「もしものときのために～私の医療と介護について～」を  
書いてみようと思いますか】



【ご意見・ご感想等がありましたら、ご自由にお書きください】

- ・勉強になりました。
- ・良かった。
- ・主人を家で介護するのは妻として見てあげたいけど、子供も男ばかりで、どうしても老老介護はきついです。女の子がいても自宅での看取りは大変でさせたくありません。これは、運命から逃げる事なのか、考えさせられました。主人や縁のあった家族と楽しく人生を終わらせる事を考えます。
- ・今回の映画を見て、在宅での看取りは本人だけでなく家族のブレない覚悟が大切と思いました。自分らしく最期を迎える難しさを考える機会となりました。宇佐市でも今後在宅で自分らしく終末を迎えることができる環境が充実することを期待しています。
- ・今まで講演会と言ったら「専門家」のお話でしたが、お話に沿った「映画」を観ることで、とても身近に感じられ理解しやすかったと思います。
- ・保健部長の挨拶、4の医療と介護の説明がとても理解しやすく、関心がある人が集まっているので講義としてももう少し長く話をしても良いと思いました。
- ・宇佐市でも在宅介護医療が気軽にできるようになることを希望しています。
- ・医師の上達が良くわかりました。
- ・在宅医療はとても大変な事だと思いました。在宅の先生の考えなど理解することができるだろうかと思う。
- ・在宅が理想ではあるが、子どもも近くに住んではないし、サービス利用又は施設の方が周囲の手を煩わせなくて良いような気がする。
- ・主人の臨終の時を思い出し、涙・涙でした。
- ・市民講座をみて良かった。
- ・人として最期の瞬間をどう過ごすか。介護医との関係性も重要なことかなあと考えた。
- ・在宅が良いのは判るが、家庭環境や人で実際には難しいでしょう。
- ・とても良かった。在宅は家族の負担が大きいですね。
- ・ちょっと考えようと思いました。
- ・どこでももらえるように配布してほしい。病院や市役所など。すぐくためになる講座でした。
- ・80歳となり、身近に感じる。迷惑を家族にかけたくない。
- ・宇佐市に在宅医療をして下さる医師はいるのか。
- ・実際にあるんですね。介護は大変だと思いました。
- ・痛くない苦しくない死に方がいいですね。
- ・在宅医療医の大変さを改めて感じています。

- ・映像が鮮明でなく、文字が見づらかったのがちょっと残念でした。
- ・字が鮮明でないのが残念でしたが、良かったです。
- ・とても在宅医療は参考になりました。
- ・今後に活かしたいと思います。
- ・大変勉強になりました。自分自身の事、看取る立場の者、各々考えてプランニングしていきたい。
- ・長尾先生のブログを読んでいるので、ずっと見たかった映画です。機会を作って頂きとても感謝しています。
- ・在宅医療の実際（例）を知る事ができた。
- ・「もしも・・・」はいつ来るのかわからない。考えたくなくても、やはり考えなくてはいけない。自分のこれからの生き方と同じだと思う。
- ・現実にこのような介護をして下さる医療があるのでしょうか。
- ・103歳の祖母と暮らしている実母と来ました。家族のこと、看取りをゆっくり考えたいです。大切な時間になりました。素晴らしい映画でした。ありがとうございました。
- ・現在、母と二人暮らしで延命治療は受けず、自宅で死にたい希望。
- ・重いテーマでした。
- ・在宅ホスピスと在宅緩和ケアの違い？
- ・良い参考になりました。
- ・ACPについて知りたい。延命治療はしないと決めているが詳しい内容は決めてない。生きた屍にはなりたくないの  
でACPとはどんなものか詳しく知りたい。
- ・ピントがぼけていて残念だった。
- ・主人の母を在宅介護しています。要介護5、介護用品支援を受けていますが品物が限られていて、シーツ等も入れて欲しい。
- ・病院に勤務している時、医療が苦しみを増す手伝いをしていないのか？と思う場面に直面することがあり、この  
映画のタイトルに心を掴まれて観に来ました。原作者を知り納得です。常に「人」を診る医療従事者が増えていく  
ことが切望です。
- ・どんな医者に出会えるかが重要かと思います。
- ・場内が暑かった。
- ・とてもいい映画でした。
- ・とてもいい内容だった。
- ・「映画よかった 母を追い 朽ちれて行こうか 天国へ」
- ・今日この映画を見せて頂き大変良かった。
- ・自分らしい人生が送れるよう、今後の人生について考えていこうと感じた。
- ・自然に枯れていきたいと思ったが、無理なのですね。誰かのお世話にならないと終われない。
- ・大変勉強になりました。有難うございました。
- ・親の介護、自分の将来について考えたいと思います。
- ・冷房がいまいちで暑かった。
- ・とても考えさせられました。在宅医療をしてくれる人材がいるかどうかでも大事ですね。
- ・これからの人生勉強になりました。映画良かったです。
- ・皆演技上手い。
- ・とても有意義な講演会でした。
- ・とても良かった。
- ・宇佐市にこんな在宅医療のセンターがあるのかな。
- ・大変良かったです。今後の参考になりました。
- ・考えさせられました。でもとても良い時間でした。
- ・すごく良かったが少し空調が暑かった。

- ・私は主人を家で看取りました。退院時、訪問医療をしてくれる先生を病院の方が一生懸命探してくださいました。宇佐市にはなかなか見つからず、中津市から見えて頂くことになり、最後はやはり間に合いませんでした。近くにこういうお医者さんがいれば良かったかなと思いました。
- ・市民講座だけでは集客はあまり望めないと思うが、映画と同時にすれば望めるのでは。しかし、お金がかかるこのような事でお金がかかってもいいのでは。
- ・少し意識を持つと思った。
- ・母のことを思い出しました。
- ・11年義父母を在宅で車椅子の介護をしましたが、最後の2か月は入院となりましたので、在宅介護の本当の苦労は無いに等しいものだったと思いました。
- ・私もこういう死に方をしたい。
- ・在宅介護をしておりますので、この映画、言葉もいい参考になり、ありがとうございました。次回介護認知症etcの映画よろしく。
- ・とても感動しました。
- ・良い映画だと思った。
- ・自分らしい生き方ができるよう、今後の人生を考えていきたいと感じました。
- ・在宅を希望してもヘルパー不足、看護、介護士不足なのが現状だと思います。
- ・良かったです。
- ・このような機会がありましたらまた参加したいです。
- ・これからの参考になります。